

# はつらつ座安っ子



【学校だより:令和4年10月 第10号】  
豊見城市立座安小学校 校長:具志直哉

## なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って**粘り強く**生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

令和4年度の1学期の終わり、節目（ふしめ）を迎えました。節目は「気持ちを新たに未来へスタートする」「今までのがんばりなどを次へとつなげる」など、希望を持って進んでいく機会にしたいものです。

そのためには、しっかりと1学期の振り返りをする事。お子さんと一緒に「よい子のあゆみ」を見ながら、2学期への意欲や希望につなげられるような振り返りをよろしく願います。（少々の課題は目をつぶってあげてください）

今回の「はつらつ座安っ子」では、よい子のあゆみについて、説明します。

## 令和4年度 よい子のあゆみ（通知表）の見方について

小学校では、令和2年度から新学習指導要領が全面実施となりました。

【\*学習指導要領とは、学校で行う教科（国語や算数等）の指導や行事など、すべての教育活動の目標や指導内容などが学年ごとに記載されており、学校教育法という法律にもとづいています。】



今回の新学習指導要領では、教育の在り方が大きく変わることになりました。キーワードは「『教わる』から『学ぶ』へ」「主体性」「協働」「問題解決力」「粘り強さ」「しなやかさ」など。つまり、知識は

「①知っているだけではだめさー！活用しないと！」  
「指示・命令どおりでなく、②自分で考え判断し、主張し、行動しようよ！」  
「勉強ぎらいではなく、③進んで学ぶこと、生活に生かせるようにすること、友だちと粘り強く学び合い、問題をより良く解決していこうとすること！」

今後もっとも必要になる力は、レジリエンス（しなやかさ）と言われています。

こんな感じで、教育の在り方が変わると、当然、評価（よい子のあゆみ）の形式も変わります。以前の学習指導要領では「知識・理解」（つまり知っていること）が重視されていたから、主に1つのまとまりの授業が終わった後のテストの点数を重視して、評価しました。

「分数のたし算ができる…◎」「物語文を読み取ることができる…○」などです。

しかしこれからの時代は、知識はスマホなどですぐに調べることができますし、上記で述べたように、知識は「①知っているだけではだめさー！活用しないと！」を重視しています。これを学習指導要領では【①生きて働く「知識・技能」】と言っています。同様に上記の①②③を、学習指導要領に記載された用語で表現すると、

- ①生きて働く「知識・技能」
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- ③「主体的に学習に取り組む態度」

となります。

よって、「よい子のあゆみ」はこの①～③の3つの観点で評価されています。そして「よい子のあゆみ」には次のように書かれています。6年生を例に示します。

国語	国語の知識や技能を身につけ、日本の言語文化に親しみ、理解することができる。
	筋道を立てて考える力や想像力を身につけ、伝え合う力を高め思いや考えを広げることができる。
	言葉の持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。

上から順に①～③です。

社会や算数、理科など、各教科によって表現は違いますが、お子さんのよい子のあゆみをご覧になれば、①～③の評価になっていることは何となくわかるのではないのでしょうか。しかしやはり専門的な用語が使われており、保護者の皆様にはわかりにくいと思います。要はこういうことです。

上段は	国語で学んだ知識や技能を（読書などで使えるくらい）しっかり理解している。
中段は	国語で学んだことをもとに文章などを考えたり、捉えたり、書いたりできる。
下段は	国語の知識や技能を進んで学び、自分の生活や他の学びに生かしている。

他の教科については、上記の「国語」を「社会」や「算数」に変えて、変換してみてください。例えば社会の①（上段）なら「社会で学んだ知識や技能を（社会でのできごとなどの問題解決に使えるくらい）理解している。」

算数の②なら「算数で学んだことをもとに（数や図形、グラフなどで表される問題）を考えたり、解決策を判断したり、解いたりすることができる。」さらに、理科の③なら「理科の知識や技能を進んで学び、自分の生活や他の学びに生かしている。」

さらに言うと①はその教科の「理解度」、②は「解決力」、③は「興味・関心」かな。

①～③の評価はテスト、それだけでなく、子どもたちの授業や家庭学習等での「学びの姿」や「話し合い活動での意見」、「学級の仲間との意見交流の場面」や「作文、作品」など、学期や学年のまとまりの中で長期的な視野に立って評価しています。

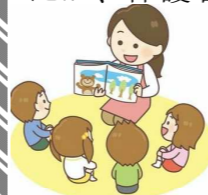


評価は「◎ ○ △」の三段階評価で、3年生以上から3～1までの評定があります。

評価は子ども達の成長につなげるためにあります。いろいろと創意工夫を重ねながら、子ども達にとって、意欲と自己の学びの改善につながっていく「よい子のあゆみ」にしていけるよう尽力していきます。保護者の皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 保護者の皆様、1学期間、ありがとうございました。

令和4年度も半分が終わりました。今年度もコロナ禍の中での教育活動となりましたが、保護者の皆様には、感染対策へのご協力、本校の教育活動へのご



理解、ご支援、朝の登校時の安全指導、各学年の教育活動への引率やボランティアでのお手伝い、参画、保健行事へのサポート、毎週金曜日の読み聞かせなどなど。

何よりも子どもたちを元気に登校させてくれること。保護者の皆様の多大なるご尽力に感謝です。ありがとうございました。

